

平成 19 年 10 月 18 日

報道機関 各位

東北大学大学院薬学研究科

**女性の腹囲 80cm はメタボの危険
男女の腹囲基準値、見直しの必要性
家庭血圧をメタボ基準に導入すべき**

東北大学大学院薬学研究科の今井潤教授らの研究グループは、一般地域住民を対象とした長期前向きコホート研究“大迫研究”のデータに基づき、メタボリックシンドローム (MS) における女性の適切なウエスト周囲径基準値、ならびに家庭血圧のメタボリックシンドローム基準としての有用性を明らかにしましたのでお知らせいたします。なお、本研究成果は、10月25-27日に沖縄で開催される、第30回日本高血圧学会のプレナリーセッションにて報告されます。

本研究の対象者は、岩手県花巻市大迫町の一般住民 395 名 (平均年齢 63 歳) です。研究対象の綿密な解析の結果、

- 1 ウエスト周囲径項目を除いた MS リスク因子の集積を検出する最適なウエスト周囲径基準値は、男性 87cm、女性 80cm であった。
- 2 家庭血圧高値の存在が、メタボリックシンドロームの存在を予測した。しかし、随時血圧は予測できなかった。

以上のことが明らかとなりました。この結果は、以前の大迫研究で、インスリン抵抗性を指標としてメタボリックシンドロームの診断基準を検討した際に算出されたウエスト周囲径と同様です (Ohkubo T et al. Diabetes Care 2006)。従って、本邦の MS 診断基準における男女の腹囲径に見直しが必要であること、ならびに MS 診断基準に家庭血圧項目を導入すべきであるとの結論が得られました。

【お問い合わせ先】

東北大学21世紀COE 'CRESCENDO'

上級研究員 浅山 敬 (Kei Asayama) MD, PhD

住所 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院外来棟 5 階

Tel 022-717-7770 (臨床薬学 内)

Fax 022-717-7776